第７７号
令和5年4月18日
編集責任者　石井　卓也

清里農連通信

発行　清里町農民連盟
清里町羽衣町2番地
TEL 0152-25-3792
FAX 0152-25-3793

令和５年度活動方針

盟友の皆様におかれましては春耕に勤しんでる事と存じます。雨や風ですら春の訪れ、季節を感じられます。４月７日には４０名の盟友代議員出席のもと第５２回定期総会を終え、令和５年度の活動方針を承認頂いたところでございます。

今後の農業を取り巻く環境は相変わらず予断出来ない状況下にあります。ＴＰＰ・ＥＰＡやＲＣＥＰといった大型の国際貿易協定の影響はもちろん、ウクライナ情勢による原油・穀物・飼料相場に影響を受けた生産資材の高騰は、円安と相まって経営計画に大きな影響を与えました。国が示した対策は現場の要望とは乖離するものでした。本年度も上部組織である北見地区農連北海道農連との連携を図り国政に対して「持続可能な地域の農業」の主権を要求して参ります。

町内対策としましては、国有防風林の整備道施工について３月に南部森林管理署・清里町・清里農協・連盟の４者協定が結ばれました。事業の継続に向けて最大の成果をあげられ安堵したところです。農業者と森林管理者とが共感の意を持って農村の景観・機能を存続出来るものへ期待しているところでございます。町内産の種子馬鈴薯の安定供給において、清泉地区でのシストセンチュウ確認は本町での馬鈴薯生産に大きな影響を与えます。北海道における種子馬鈴薯生産の独自ルールの解釈緩和に向けては、前年度より引き続き根気よく訴え続けていきます。鳥獣対策については、国有林における誘引一斉駆除が期待以上の駆除成果をあげ、今後の継続に要望を続けていきます。今後組織の協力体制として更新期草地や休耕農地を誘引場として提供できるか等を盟友皆様と考えていきたいと思います。道路・河川支障木伐採や道路整備等においても継続して予算付けを要求して参ります。農連組織の重要な運動の根源は盟友総意による継続的な行動です。本年は６月に食料・農業・農村基本法の見直しの取りまとめが争点となります。４年ぶりに移動執行委員会を実施し、粘り強く訴え現場の望みを伝えて参ります。盟友皆様においても地元執行委員を中心に組織に対してご要望を申し付けください。皆で農村コミュニティを守りましょう。

清里町農民連盟委員長　　坂野和弘

農業経営の存続と持続可能な食糧安全保障政策を求める緊急全道農民集会

３月３０日に札幌で行われた緊急全道農民集会に、坂野委員長・市橋・佐藤執行委員・私の４名で出席しました。集会の内容としては、我が国において現在、エネルギーの価格高騰を発端とした食料品・電気料の更なる値上げによる家計の圧迫、農業分野では米・砂糖・乳製品の在庫滞留、燃油・肥料・飼料などの生産資材高騰により農業者は営農継続が困難になっている。特に酪農家の離農が急増しており、新たな緊急対策を早急に講ずることが求められている。政府は「食糧安全保障強化政策大綱」を策定し、「食糧・農業・農村基本法」の見直しに着手しており、現場の意見を反映した実効性のある施策を実現するために農業を再評価し、所得補償政策の強化など持続可能な農業政策が急務となっている。将来に渡って安心して営農できるよう農業の経営安定と食糧安全保障の強化に向けて、次の事項の決議を行いました。

１）米・砂糖・牛乳・乳製品の在庫削減対策や新たな需要創出など国の財政支援による消費拡大等の需給改善を早急に図ること。また、燃油・肥料飼料等生産資材価格の高騰に加え電気料金の大幅な引き上げなどで一層生産コストの増加が見込まれることから、生産資材高騰対策の拡充、無利子融資の融通など経営存続に向けた新たな緊急対策を講ずること。

２）世界の食料事情に鑑み、輸入に頼らない国内食料の安定生産・供給にむけて生産資材の安定的な確保や担い手・労働力の育成・確保、再生産可能な直接支払制度の導入など機動的な施策の拡充や予算の確保により、生産基盤を一層強化し、国内生産の増大を図る食糧安全保障政策を強化すること。また、基本法の見直しにあたっては、食糧自給率の向上を目指し、農業者が将来に渡って安心して営農できる持続可能な食糧・農業・農村政策を確立すること。

石　井

編集後記

４月になり各団体の総会も無事に終わり、そろそろ蒔き付けが始まろうとしています。４年に１度の統一地方選も後半戦に入り、町内でも各候補の舌戦が繰り広げられています。選挙は私達が国民主権の憲法の下に保証された権利です。豊かな社会を作るための代表者を自分の意志で選ぶ事ができます。

連盟が行っている農民運動は、私たち農家が今以上に豊かな生活を送る為の権利を勝ち取る活動です。憲法で国民主権とは言われていても、農家の権利はまだまだ保証されていない部分が多いのが現状なんですね。

保証された権利を行使するのも、まだまだ保証されてない権利を勝ち取るのもどちらも大切な事です。皆さんも積極的に行動して欲しいと思います。

選挙の年は風が吹くと言います。怪我・事故なく無事に蒔き付けが終わる事を願います。

目　黒